

地震調査研究推進本部

第 3 0 回政策委員会議事要旨(案)

1. 日時 平成 1 9 年 2 月 2 6 日 (月) 1 0 時 3 0 分 ~ 1 2 時 0 5 分
2. 場所 三田共用会議所 3 階 D 会議室、E 会議室 (東京都港区三田 2 丁目 1 番地 8 号)
3. 議題
 - (1) 平成 1 9 年度地震調査研究関係政府予算案について
 - (2) 各部会の審議報告
 - (3) 地震調査委員会の活動について
 - (4) 地震予知のための新たな観測研究計画 (第 2 次) の実施状況等のレビューについて (報告)
 - (5) 今後の地震調査研究の在り方について
 - (6) その他
4. 配付資料
 - 資料 政 3 0 - (1) 地震調査研究推進本部政策委員会構成員
 - 資料 政 3 0 - (2) 地震調査研究推進本部第 2 9 回政策委員会議事要旨 (案)
 - 資料 政 3 0 - (3) 平成 1 9 年度地震調査研究関係政府予算案 (省庁別)
 - 資料 政 3 0 - (4) 調査観測計画部会の検討状況について
 - 資料 政 3 0 - (5) 成果を社会に活かす部会の調査審議状況について
 - 資料 政 3 0 - (6) 地震調査委員会の活動状況
 - 資料 政 3 0 - (7) 地震予知のための新たな観測研究計画 (第 2 次) の実施状況等のレビューについて (報告)
 - 資料 政 3 0 - (8) 今後の地震調査研究の在り方について (事務局ペーパー)
 - 資料 政 3 0 - (9) 今後の地震調査研究の在り方について (資料集)
 - 参考 政 3 0 - (1) 地震調査研究の推進について - 地震に関する観測、測量、調査及び研究の推進についての総合的かつ基本的な施策 -
 - 参考 政 3 0 - (2) 地震調査研究の推進について - 地震に関する観測、測量、調査及び研究の推進についての総合的かつ基本的な施策 - (概要)
 - 参考 政 3 0 - (3) 「地震調査研究の推進について - 地震に関する観測、測量、調査及び研究の推進についての総合的かつ基本的な施策 - 」の評価について (概要)
5. 出席者

(委員長)	岡田 恒男	財団法人日本建築防災協会理事長
(委員長代理)	吉井 博明	東京経済大学コミュニケーション学部教授
(委 員)	阿部 勝征	国立大学法人東京大学地震研究所教授
	石川 嘉延	静岡県知事
		代理 岩田 孝仁 防災局防災情報室長

石田 瑞穂	独立行政法人海洋研究開発機構地球内部変動研究センター長 付特任研究員
大久保 修平	国立大学法人東京大学地震研究所長
河田 恵昭	国立大学法人京都大学防災研究所長
高木 靱生	国立大学法人東京工業大学統合研究院特任教授／日本科学技 術ジャーナリスト会議理事
高梨 成子	(株) 防災&情報研究所代表
中林 一樹	首都大学東京大学院都市環境科学研究科教授
長谷川 昭	東北大学大学院理学研究科教授
平田 直	東京大学地震研究所教授
松村 みち子	タウンクリエイター代表
柳沢 協二	内閣官房副長官補 (安全保障、危機管理担当) 代理 塚原 浩一 内閣官房副長官補 (安全保障・危機管理担当) 付 内閣参事官
増田 優一	内閣府政策統括官 (防災担当) 代理 池内 幸司 地震・火山対策担当参事官
大石 利雄	消防庁次長 代理 金谷 裕弘 消防庁国民保護・防災部防災課長
藤田 明博	文部科学省研究開発局長
小島 康壽	経済産業省産業技術環境局長 代理 吉田 雅彦 産業技術環境局知的基盤課長
門松 武	国土交通省河川局長 代理 上総 周平 河川局防災課長
(常時出席者)	
平木 哲	気象庁長官 代理 鉢嶺 猛 地震火山部地震津波監視課長
藤本 貴也	国土地理院長
(事務局)	
板谷 憲次	大臣官房審議官 (研究開発局)
土橋 久	文部科学省研究開発局地震・防災研究課長
橋本 徹夫	文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震調査管理官
中島 秀敏	文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震調査研究企画官
奥 篤史	文部科学省研究開発局地震・防災研究課課長補佐
本蔵 義守	文部科学省科学官

6. 議事

- (1) 前回議事要旨案を了承した。
- (2) 平成19年度地震調査研究関係政府予算案について、事務局から説明があった。
- (3) 調査観測計画部会の検討状況について、長谷川部会長より、「機動的地震観測のデータの公開に関する方針」の報告があった。
- (4) 成果を社会に活かす部会の調査審議状況について、吉井部会長より、①地方公共団体の防災担当者及び報道関係者を対象としたグループヒアリングの結果の取りまとめ、

- ②地震調査研究推進本部の活動に関するアンケート調査報告書の取りまとめ、③地震動予測地図の新しい見せ方について、報告があった。
- (5) 地震調査委員会の活動状況について、阿部地震調査委員会委員長より、①地震活動の現状評価の実施、②地震発生可能性の長期的な観点からの評価の実施、③活断層で発生する地震、海溝型地震を対象とした強震動評価の推進、④長期評価、強震動予測等を統合した地震動予測地図の作成について、報告あった。
- (6) 地震予知のための新たな観測研究計画(第2次)の実施状況等のレビューについて(報告)、長谷川委員より報告があった。
- (7) 今後の地震調査研究の在り方について議論を行った。